



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日

上場会社名 太平洋セメント株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 5233

URL <https://www.taiheiyo-cement.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 不死原 正文

問合せ先責任者(役職名) 総務部長

(氏名) 鳥井 久史 (TEL) 03 - 5801 - 0334

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	200,560	△3.0	7,023	17.1	7,136	14.4	3,267	△41.8
2020年3月期第1四半期	206,868	△2.1	5,996	△38.5	6,235	△37.6	5,614	△8.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,776百万円(△30.8%) 2020年3月期第1四半期 5,454百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	26.80	—
2020年3月期第1四半期	45.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,052,051	469,273	41.1
2020年3月期	1,032,923	473,241	42.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 432,883百万円 2020年3月期 436,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	414,000	△4.0	16,500	△26.5	16,500	△26.6	9,000	△44.5	73.53
通期	876,000	△0.9	55,000	△9.8	54,500	△10.0	32,000	△18.3	261.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	127,140,278株	2020年3月期	127,140,278株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,289,372株	2020年3月期	4,740,292株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	121,921,128株	2020年3月期1Q	122,389,539株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業収益や個人消費が急速に悪化する中で、設備投資や雇用・所得も弱い動きとなり、景気の先行きも非常に不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,005億6千万円（対前年同期63億7百万円減）、営業利益は70億2千3百万円（同10億2千7百万円増）、経常利益は71億3千6百万円（同9億1百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億6千7百万円（同23億4千6百万円減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

① セメント

セメントの国内需要は、昨年度下期以降、低調な需要が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり官公需・民需ともに低調に推移し、全体では939万トンと前年に比べ6.3%減少しました。なお、輸入品はありませんでした。また、総輸出数量は239万トンと前年同期に比べ2.6%増加しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め334万トンと前年同期に比べ6.0%減少しました。輸出数量は85万トンと前期に比べ8.9%増加しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、販売数量、価格ともに前期を上回りました。中国のセメント事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売数量が減少しました。ベトナムのセメント事業は、他社との競合等の影響を受けたものの、販売数量は前期を上回りました。フィリピンのセメント事業は、販売数量、価格ともに横ばいで推移しました。

以上の結果、売上高は1,454億1千7百万円（対前年同期15億9百万円減）、営業利益は34億9千9百万円（同18億7千5百万円増）となりました。

② 資源

骨材事業は前年同期に比べ関東地区で販売数量が減少しました。鈦産品事業は鉄鋼向け石灰石の出荷が低調に推移しました。土壌ソリューション事業は固化不溶化材が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は182億8百万円（対前年同期15億1千3百万円減）、営業利益は10億7千9百万円（同4億5千3百万円減）となりました。

③ 環境事業

大船渡発電事業の稼働開始に伴うバイオマス燃料販売の増加、昨年の台風19号被害による災害廃棄物処理に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響による電力需要の減少、石炭火力発電の稼働率低下に伴って燃料、石炭灰処理及び排脱タンカル販売が減少したため、売上高は178億1千6百万円（対前年同期26億1千4百万円減）、営業利益は11億8千2百万円（同2億2千3百万円減）となりました。

④ 建材・建築土木

地盤改良工事とALC（軽量気泡コンクリート）等が低調に推移したことより、売上高は163億3千3百万円（対前年同期25億6千2百万円減）、営業利益は3億5百万円（同4億5千6百万円減）となりました。

⑤ その他

売上高は186億7千9百万円（対前年同期10億4千1百万円増）、営業利益は9億5千4百万円（同5億8百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ191億2千8百万円増加して1兆520億5千1百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ188億6千1百万円増加して3,373億6千4百万円、固定資産は同2億6千6百万円増加して7,146億8千7百万円となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ230億9千6百万円増加して5,827億7千8百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ291億5千9百万円増加して3,429億3千万円、固定負債は同60億6千2百万円減少して2,398億4千8百万円となりました。流動負債増加の主な要因は短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金が減少したことによるものであります。有利子負債（短期借入金、商業・ペーパー、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ326億3千3百万円増加して2,987億4千9百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ39億6千8百万円減少して4,692億7千3百万円となりました。主な要因は自己株式が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2020年5月20日に公表しました連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,641	79,256
受取手形及び売掛金	159,048	144,828
電子記録債権	13,507	13,464
商品及び製品	30,897	32,216
仕掛品	2,310	3,088
原材料及び貯蔵品	45,075	46,784
その他	17,324	19,031
貸倒引当金	△1,302	△1,307
流動資産合計	318,502	337,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	138,947	137,769
機械装置及び運搬具（純額）	162,944	162,949
土地	164,869	165,585
その他（純額）	77,792	77,846
有形固定資産合計	544,553	544,151
無形固定資産		
のれん	179	208
その他	29,634	29,508
無形固定資産合計	29,814	29,716
投資その他の資産		
投資有価証券	82,931	85,072
退職給付に係る資産	11,090	11,054
その他	52,358	50,989
貸倒引当金	△6,327	△6,296
投資その他の資産合計	140,053	140,819
固定資産合計	714,420	714,687
資産合計	1,032,923	1,052,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,430	75,893
電子記録債務	5,330	5,376
短期借入金	120,783	151,600
コマーシャル・ペーパー	12,000	19,000
未払法人税等	6,024	2,510
賞与引当金	6,158	4,741
その他の引当金	139	92
その他	79,906	83,716
流動負債合計	313,771	342,930
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	103,332	98,148
退職給付に係る負債	24,999	24,457
役員退職慰労引当金	521	460
特別修繕引当金	128	141
その他の引当金	828	840
資産除去債務	7,341	7,378
その他	78,758	78,421
固定負債合計	245,910	239,848
負債合計	559,682	582,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	60,233	60,282
利益剰余金	326,086	325,677
自己株式	△16,098	△20,006
株主資本合計	456,395	452,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,723	8,490
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	4,968	4,968
為替換算調整勘定	△21,413	△22,971
退職給付に係る調整累計額	△9,995	△9,731
その他の包括利益累計額合計	△19,716	△19,244
非支配株主持分	36,563	36,389
純資産合計	473,241	469,273
負債純資産合計	1,032,923	1,052,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	206,868	200,560
売上原価	167,554	162,517
売上総利益	39,313	38,043
販売費及び一般管理費	33,317	31,019
営業利益	5,996	7,023
営業外収益		
受取利息	103	97
受取配当金	559	585
持分法による投資利益	623	287
その他	587	706
営業外収益合計	1,874	1,677
営業外費用		
支払利息	984	887
その他	650	677
営業外費用合計	1,634	1,564
経常利益	6,235	7,136
特別利益		
固定資産処分益	139	77
投資有価証券売却益	78	-
受取補償金	2,730	-
その他	15	12
特別利益合計	2,963	90
特別損失		
固定資産処分損	638	670
事業撤退損失	185	-
臨時休業等による損失	-	358
その他	11	379
特別損失合計	836	1,408
税金等調整前四半期純利益	8,363	5,819
法人税等	2,693	2,221
四半期純利益	5,669	3,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	329
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,614	3,267

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	5,669	3,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△341	1,942
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	96	△1,680
退職給付に係る調整額	124	256
持分法適用会社に対する持分相当額	△96	△339
その他の包括利益合計	△215	179
四半期包括利益	5,454	3,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,356	3,740
非支配株主に係る四半期包括利益	98	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

臨時休業等による損失

当社グループの連結子会社において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした各国政府や地方自治体の要請等に基づき、工場・商業施設の操業・営業を停止した期間中の固定費を特別損失に計上したものであります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,548,500株の取得を行っております。このことなどにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,907百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が20,006百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境事業	建材・ 建築土木	計				
売上高									
外部顧客への売上高	144,183	13,757	18,703	17,949	194,593	12,275	206,868	—	206,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,743	5,964	1,727	946	11,382	5,363	16,745	△16,745	—
計	146,927	19,721	20,431	18,895	205,975	17,638	223,614	△16,745	206,868
セグメント利益	1,624	1,533	1,406	761	5,325	445	5,771	224	5,996

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、化学製品事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境事業	建材・ 建築土木	計				
売上高									
外部顧客への売上高	142,995	12,590	16,055	15,278	186,919	13,640	200,560	—	200,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,421	5,617	1,761	1,055	10,856	5,039	15,895	△15,895	—
計	145,417	18,208	17,816	16,333	197,775	18,679	216,455	△15,895	200,560
セグメント利益	3,499	1,079	1,182	305	6,067	954	7,021	2	7,023

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、化学製品事業、スポーツ事業、電力供給事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。